

無所属

横浜市会議員（磯子区）

ふた

い

令和7年

4月

二井くみよ

市政報告 Vol.41



新年度の横浜市をもっとより良く！

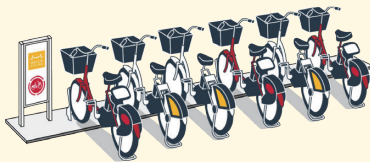
- ・市内のシェアサイクルが進化！
- ・防災に関連した質問ダイジェスト

Check!

令和7年4月から「横浜モデル」のシェアサイクルがスタート！

シェアサイクルとは、地域内に設置された複数のサイクルポートを利用でき、借りた場所でなくても別のポートに自転車を返却できる利便性の高い交通システムです。

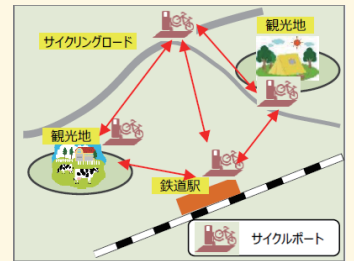
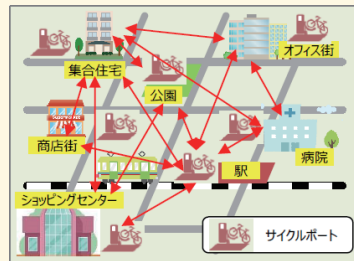
近年、全国的に利用者が増えており横浜市においても右肩上がりです。これからの暖くなる季節、ぜひシェアサイクルを利用してみませんか。



シェアサイクルの利用イメージ

生活の利便性向上

観光の振興



出典：『シェアサイクル事業の導入・運営のためのガイドライン（国土交通省・自転車活用推進本部）』より抜粋

横浜市シェアサイクル事業「横浜モデル」の概要

- 期間** 令和7年4月1日～令和12年3月31日（※期間を最大5年間延長可）
- 手法** 株式会社ドコモ・バイクシェア、OpenStreet株式会社、横浜市の公民連携事業
- 区域** 市内全域を1つの区域としてシームレスな移動サービスを提供

磯子区内のシェアサイクルポートはこちらから



今後の取組内容

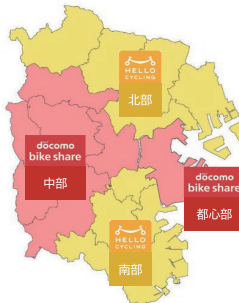
- 1 市内全域での公有地ポートを整備（区役所や歩道や公園などに順次ポートを設置）
- 2 規制緩和による民有地ポートの整備促進
- 3 移動データの分析・活用で配置を最適化し利用環境を改善
- 4 将来的には徒歩250m程度でアクセスできるポートの設置を目指す
- 5 全国初！共同ポート化による相互乗入（市内全域でのシームレスな移動を実現）

※共同ポートとは

複数のシェアサイクル事業者間で、一つのポート内の駐輪状況が相互に共有され、当該ポートに設定された最大駐輪可能台数内であれば、異なる事業者の車両であっても自由に返却が可能なポートのこと。共同ポート化は、令和7年度前半より公有地ポートから開始し、順次拡大

2024（令和6）年度まで

- ・都心部事業（横浜都心部）
- ・広域事業（北部・中部・南部）



2025（令和7）年度から

- ・横浜市シェアサイクル事業（全域）

横浜市シェアサイクル事業実施方針

公募選定



二井の
考え

交通移動手段としての自転車利用の割合は、市全体で7.1%（磯子区も同じく7.1%）であり、鉄道利用の37%に比べ低い数字となっています。より多くの方にシェアサイクルを利用していただくことは、健康増進にもつながり、未病対策としても有用と考えます。今後は効果検証を進めながら、気軽に利用できる環境整備に取り組んで参ります。

二井質疑 1

2/21 公園でのトイレの防災対策について(みどり環境局)

現状課題

本市にはトイレがない公園も多いです。市が町内会等に配布している「公園に防災倉庫を設置するための手引き」にある「防災倉庫に入れる資機材の標準例」にはトイレがありません。

【防災倉庫に入れる資機材の標準例】
発電機(ガス式)、燃料(カセットボンベ)、
投光器、コードリール、レスキュージャッキ、
ハンドマイク、テント、LEDランタン、
トランシーバー、ロープ、ワイヤーカッター、
つるはし、大ハンマー、スコップ、てこ棒、
大バール、大なた、のこぎり、
鉋矢(木のハンマー)、金属はしこ、
リヤカー、ヘルメット、担架、松葉杖、
グラブシート、保温用シート、毛布、
アルミブランケット、防災ラジオ、串いす、
長机、いす

簡易トイレの追記載を要望!

二井質問

地域が設置する防災倉庫へ簡易トイレの備蓄を促すべきではないでしょうか。

答弁

地域への簡易トイレの備蓄促進については、地域が設置する防災倉庫に入れる資器材標準例への簡易トイレの記載などの対応が考えられるので、関係局とも調整の上、検討を行います。

二井質疑 2

2/21 災害時のトイレ対策について(資源循環局)

二井提言

一年前の資源循環局への質問で、トイレパックは備蓄率ではなく備蓄数を把握すべきと提言。その結果、その後の調査で「3日以上以上の数を備蓄している家庭の割合は34.2%」と判明。まだまだ割合が低いです。



二井質問

3日以上トイレパックを備蓄している家庭をもっと増やしていくべきではないでしょうか。

答弁

3日以上以上の備蓄率を、令和15年度までに100%にすることを目標に普及啓発に取り組みます。今後、トイレパックを実際に手に取っていただき、その場で購入できる機会を作ります。

二井質疑 3

2/28 非常用電源確保の必要性について(健康福祉局)

二井提言

一年前の総合審査での市長への質問では、地域ケアプラザに非常用電源を整備すべきと要望。7年度予算案では社会福祉施設等への電気自動車購入の補助費用が新たに計上され一歩前進。しかし、災害時に確実な電力確保ができるとは言いきれず、まずは施設ごとの必要電力量の事前確認が必要不可欠です。



二井質問

災害発生時において、高齢者施設や障がい者施設が、最優先に稼働させる設備と必要な電力量を確認しておくべきではないでしょうか。

答弁

命に直結する医療機器や施設機能を維持するための設備等は、災害時においても止めることのできない必要不可欠なものです。このため、最優先に稼働すべき設備を今後精査したうえで、必要な電力量について把握していきます。

二井質問

福祉避難所に指定されている地域ケアプラザ146か所についても、発災時に必要とする電力量の実態を把握していくべきではないでしょうか。

答弁

地域ケアプラザが福祉避難所として機能を果たしていくために必要な設備あるいは電力量の確保に向けて、今後、それぞれの建物の実態をしっかり把握し、発災時に利用可能な設備や必要な電力確保の方策について、検討を進めます。



現状、全ての地域ケアプラザを福祉避難所に指定していますので、その機能に差があってはいけないと思います。福祉避難所の電源確保は命に関わる大変重要な取り組みです。速やかに実態把握に努めていただくよう強く要望しました。



二井くみよ プロフィール

- ◆1982年9月6日生まれ ◆千葉大学法政経学部卒業
- ◆国会議員秘書(13年間)～民間会社勤務
- ◆就労移行支援事業所 就労支援員
- ◆行政書士・防災士
- ◆横浜市議員2期目(無所属)
- ◆建築・都市整備・道路委員会/健康づくり・スポーツ推進特別委員会
- ◆民主フォーラム横浜市議員団
- ◆磯子消防団第4分団/横浜防災ライセンス・磯子

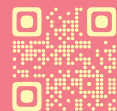


市政に優しさとスピードを!!

<HPはこちら>



LINE 公式アカウント



是非ご登録・ご覧ください!

二井くみよ事務所

〒235-0045
 横浜市磯子区洋光台 3-17-29
 サウスウィンド 101
 電話 : 045-654-4497
 FAX : 045-330-7799
 MAIL : futaikumiyo@gmail.com